

# 「ひょうご」経済



■経済部

TEL 078-1362-17094  
FAX 078-1360-15511  
e-mail keizai@kobe-np.co.jp

## 豊かな長寿社会実現

「世の中に脳卒中患者のなんと多いことか。でも、私自身、倒れて苦しんで目が向いた。周りには寝たきりや車いす生活になる人もいた。アパレル業界に長く身を置いてきたからこそ、病気の人が回復し、老後もフッショナルに過ごしてほしい」と話す。

アパレル大手ワールド(神戸市中央区)の創業者、畑崎廣敏氏(77)が4月、私財3億円を投じて公益財団法人「畑崎財団」を設立した。先端医療振興財団(同)などが取り組む再生医療の研究に資金を提供する。脳出血で倒れた経験を踏まえ「多くの人が老後もフッショナルに過ごしてほしい」と話す。

### なぜ財団設立し医療支援を

「研究では、さまざまな組織になる能力を持つ幹細胞の一種「脂肪由来間葉系幹細胞」に着目している。目の目をみるまで、一緒にプロジェクトは。脳血管障害や、アトピー性皮膚炎など自己免

ワールド創業者

畑崎 廣敏氏



疫疾患の治療への応用が目標だ。私自身、ある医療機関で幹細胞を使った治療を自由診療で受け、効いたという実感を持った。でも、それだけでは勧められない。科学的根拠を示し、保険適用される標準医療を目指して坂井医師をはじめ専門医や研究者の力を借りる。プロジェクトをきちんと踏み、思いが活動の根底にある」

「財団設立の経緯は。経営の一線を退いてから、何か社会に役立つことをしたいとずっと考えてきた。納得できるテーマに出合えなかった中、2005年に脳出血で倒れ、その後も2回発症、治療とリハビリで何とか回復した」

「神様に『そっこの人に聞く

この人に聞く

はたさき・ひろとし 県立洲本実業高校卒。1959年、木口衛氏(故人)とともに神戸でワールドを設立。72年から97年まで社長を務めた。神戸商工会議所副会頭や神戸フッショナル協会副会長などを歴任。13年4月から畑崎財団理事長。旧五色町(現洲本市)出身。